

県の動き 1

いよいよ首里城復元工事はじまります!

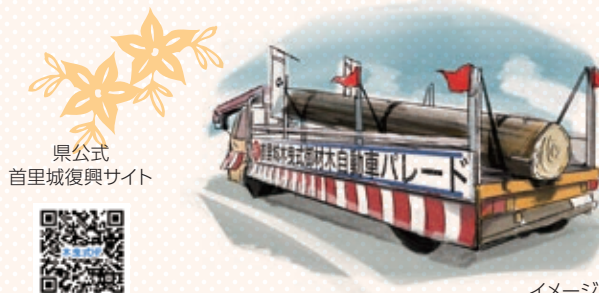
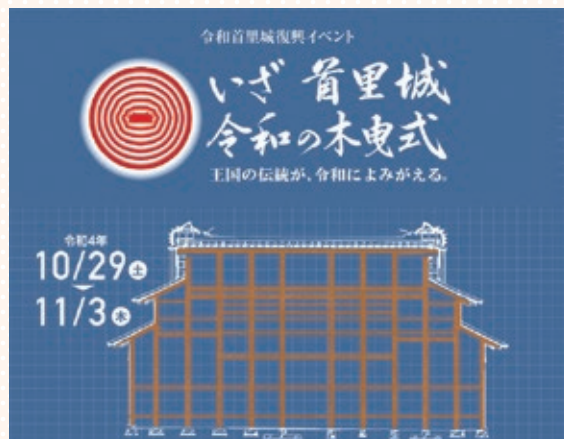
令和元年に火災で焼失した首里城正殿の復元工事が、今年11月からはじまります。県では、琉球王国時代から首里城の造営や修復時に行われていた行事「木曳式(こびきしき)」にならった復興イベントを10/29(土)～11/3(木)の日程で開催します。

「木曳式」は、復元工事で使用する木材を首里城に運び込む行事で、今回は、調達地である国頭村から首里城まで車両等でパレードして運搬し、その途中で様々なイベントの開催、連携を図っていく予定です。

また、運搬する木材は、国内外からの寄付金を活用して調達した県産材「オキナワウラジロガシ」であり、首里城を想う皆様に、着実に復元が進んでいることをお伝えする機会になればと考えています。

当日はオンラインによるライブ配信も予定していますので、ぜひご覧ください!

イベントの詳細・ライブ配信はこちら



イメージ図

問い合わせ

首里城復興課

電話:098-943-0140

FAX:098-862-3825

県の動き 2

沖縄らしい風景づくり

沖縄らしい風景とは

本県は、特有の自然環境や歴史・文化がもたらす独特の県土景観を有しており、地域ごとに多様な景観資源があります。

沖縄らしい風景とは、ひとくりに捉えられるものではなく、各地域の個性的な特徴とともに、自然や歴史・文化、時代の変遷を背景とした多面性を持つもので、「自然風景」や「伝統的風景」と「人と暮らしの風景」の調和した姿をいいます。

沖縄の風景づくり復帰50周年記念事業

～沖縄の風景づくりの過去・現在を考え、未来へつなぐ～

本土復帰50年となる今年は、復帰以降の沖縄の風景を振り返るとともに、現在評価されている風景やこれからの沖縄の風景づくりを考える各企画を展開しています。

過去

復帰50年の風景を振り返るパネル展

復帰以降の風景づくりを振り返るパネル展を県内各地で開催しました。

現在

「私の好きな沖縄の風景」

「私の好きな沖縄の風景」の写真やコメントの募集を行い、県内外から多くの応募がありました。

パネル展と応募された風景はQRコードよりご確認いただけます。



未来へ

これからの沖縄の風景づくりを考える

「これからの沖縄の風景づくりを考えるシンポジウム」を11月10日(木)にパレット市民劇場で開催します。詳細はホームページよりご確認ください。また、参加には事前登録が必要となりますので、応募フォームよりお申し込みください。

沖縄 風景 復帰50年 検索

沖縄の風景づくり
復帰50周年記念事業
[県公式HP]



シンポジウム
応募フォーム



問い合わせ

都市計画・モノレール課

電話:098-866-2408

FAX:098-866-5938

